

これ知っとう？

わが町の宝物 第12回

す え まちしょうぼうだん そうほうたいかい
須恵町消防団 (操法大会)



時代は移り変わっても、守り続けていきたい自然・歴史・文化・人…
 須恵町の大切な宝物をご紹介します。

須恵町消防団は、町内各地区を所管とする10分団で組織されています。

各分団では、町民の生命と財産を守るため、さまざまな消防団の活動の中、夏の時期を迎えると、10分団が一堂に会し、熱い戦いが繰り広げられる「消防ポンプ操法大会」が開催されます。

「消防ポンプ操法大会」とは、消防技術の向上と指揮の高揚を目的に、実際に設置した防火水槽の「水利」から、火災現場を想定した「火点」に、ホースの延長、放水、消火、納めまでの基本操作を競う大会で、50年を超える歴史があります。

この時期、団員は約1カ月間を訓練に費やします。これは突然の火災等を想定して、機械器具を使った迅速な行動をとるための大切な備えです。

自動車ポンプ部門と小型ポンプ部門の2種類に大別

されていて、本業を別に持つ団員達の頑張りのもとにより、家族などの理解や協力のもとに成り立っています。

これに優勝した分団は、更に1カ月間の訓練を経て糟屋地区大会に進み、更には2年に一度の県大会、全国大会への権利を有します。

今年がその年で自動車ポンプ部門となっています。2年に一度県大会があり、自動車ポンプと小型ポンプが交互に全国大会があるため、各分団の出場権は五輪と同じ4年に一度となります。

この全国大会に当町は平成22年に本部分団、平成28年に上須恵分団が出場し、共に優良賞に輝きました。

この規則正しい動作やスピードを全国レベルで競い、技量を向上させる競技に、当町からより多く出場して欲しいものです。



今年の操法大会は6月3日(日)
 会場は須恵中学校テニスコートです。
 ぜひ応援に来てください。

須恵町消防団 団長
 今泉和則さんにお話を伺いました。



編集後記

平成30年度が始まりました。

本年は町長選挙が行われ、本号が発刊される頃には新町長が決まっていると思います。

また4月からは国民健康保険制度が変わります(12頁参照)。

本頁の「わが町の宝物」では当町消防団の操法大会について解説されています。

今泉団長の思いを伺って、①4月から夜間・早朝・休日と訓練するが練習場所の確保で困っている分団がある

②今までの流れや質を落とさず実施したいが、基本となる、人員の確保が困難

③怪我なくベストを尽くして頑張りたい、とのこと。

町民の生命や財産を守るという、重要な使命を担う消防団の方々に敬意を表するとともに、何かあれば我々もできる限り協力するという立場を忘れたくないものです。

白水 勝元

発行責任者

議長 長：三角 良人

広報特別委員会

委員長：今村 桂子

副委員長：白水 勝元

委員：合屋 伸好

委員：三角 栄重